（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（株式会社新日本科学）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		・毎月1回、部門長クラスが集まる経営理念会議を開催するとともに、社長が自らの言葉で社員に向けたビデオメッセージを配信しています。 ・毎週月曜日に経営者マインド研修と称した理念実践メッセージを社長が全社配信し、経営トップ自らが理念の浸透を図り、組織の一体感を醸成しています。 ・当社の理念手帳を作製し社員に携帯させるとともに、社長の著書『大切にしたい働くこころ－その尊きちから』や理念日めくりカレンダーなどを全社配布しています。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し，法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・ステークホルダーに対して新日本科学グループの一員として希求される行動規範を「コンプライアンス行動指針」としてまとめ、全役職員に理念手帳を配布し指針の周知徹底を図っています。 ・コンプライアンスに関する最新情報や事例について、毎月e-learningによる社内研修を実施しています。																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・サステナビリティに関する重要な案件については、サステナビリティ経営の推進を目的に当社取締役会の任意の諮問機関として設置したSDGs委員会にて審議・策定しています。																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により，自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し，適切に対応している。（※利害関係者：消費者，投資家等及び社会全体）	●		・当社は顧客満足度調査を実施し、サービスや対応の更なる向上を目指して、問題点や課題の把握とその改善に取組んでいます。 ・2021年6月、IRに関する専門部署としてIR広報統括部を新設し、担当者を配置しています。IR広報ブログを開設し、当社の活動について、専門的な内容も詳細かつ分かりやすい形できめ細やかな情報提供を行っています。 ・2021年度からは原則、日・英での情報開示を行っています。																16	17
	5	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して，責任を持った対応に取り組んでいる。		●	・サステナビリティの推進にあたっては「新日本科学サステナビリティ基本方針」を基軸とし、社員一丸となって取組みを進めています。																16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し，訓練や見直しを行っている。		●	・当社では、大規模な自然災害や人的災害が発生した場合に備えて対策の優先順位や具体的な対策行動を定めた「危機管理計画書」を制定しており、危機発生時には対策本部主導の下、迅速に対応できる体制を整えています。									9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・　当社は、構成員の過半数を社外取締役により構成する任意の「コーポレートガバナンス・指名委員会」を設置して、後継者計画に関する事項も含めて審議しています。 ・当社は、2002年から社内に独立した教育機関「SNBLアカデミー」を設置し、経営者マインドを持った人材の育成に取組んでいます。								8	9								17
公正な取引	8	【贈収賄の禁止，公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ，社員に周知している	●		・「贈収賄および汚職防止に関するポリシー」を制定し、接待・贈答、政治献金、各種団体等への寄付等の実施についても明確な規定を設けています。										10						16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・「知的財産に関するポリシー」を制定し、重要な会社資産である知的財産を適切に利用し、その権利を確実に保全することで企業価値の向上に努めています。								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報保護規定」を制定し、社内研修においても個人情報保護に関するテーマを取れ入れています。																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー，事業パートナー等と，人権侵害の防止，生物多様性や生態系への悪影響の防止，倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し，共に取り組んでいる。		●	・「サプライヤー行動規範」を制定し、法令規則の遵守、人権尊重、適正な労働慣行、環境保全への取組み等に配慮した調達活動を推進すべく当社に製品やサービスを提供する主なサプライヤーを訪問して、本規範の遵守に対する理解と協力を求めています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・「サプライヤー行動規範」を制定し、法令規則の遵守、人権尊重、適正な労働慣行、環境保全への取組み等に配慮した調達活動を推進すべく当社に製品やサービスを提供する主なサプライヤーを訪問して、本規範の遵守に対する理解と協力を求めています。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別，年齢，障がい，国籍，出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され，社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・「差別およびハラスメント防止に関するポリシー」を制定し、社内研修においても差別やハラスメント防止に関するテーマを取り入れています。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により，過度な長時間労働を防止し，家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・「働く楽しさを実感できる組織づくり」をマテリアリティの１つに掲げ、社員の柔軟な働き方の実現に向けて、テレワーク勤務、フレックスタイム制度、時差出勤、時間単位での有給休暇、事業所併設託児所、保育料補助制度を導入しています。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため，安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務中の事故などの事例を社内メールで共有するなどして、社内の労働安全の意識を高めています。			3					8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性，外国人，障がい者，高齢者等）が，十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・多様性の確保にあたっては、「人材マネジメントに関するポリシー」を定め、社長自らがその重要性を発信するとともに、取締役への評価項目にも多様性に関する取組みや成果が組み込まれています。 ・障がい者雇用、活躍推進に向けては、2011年に鹿児島県内で初めての認定となる障がい者雇用促進を目的とする特例子会社「ふれあい・ささえあい株式会社」を設立ています。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発，教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・2002年から社内に独立した教育機関「SNBLアカデミー」 を設置し、新入社員から将来の管理職/経営者候補まで、幅広い人材を育成する複数のプログラムを展開しています。 ・経営トップが自身の業務割合の25%を社員の育成や幹部研修（永田塾）に費やすなど、社長が直接講義するプログラムを設けています。				4	5.5			8	9								

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（株式会社新日本科学）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず，同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一賃金同一労働ガイドラインに沿った公正な待遇を行っています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ，生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・CEOであり、医師でもある代表取締役社長自身が最高健康責任者（CHO）を兼務し、「わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」のスローガンを掲げ、健康経営を実践しています。 ・CHOのもと、専任部署の健康管理課と総務人事本部を中心に健康増進施策を展開し、毎月の経営理念会議において進捗が発表され、従業員の健康状態を共有し、社内で必要な施策を迅速に取れる体制を整えています。			3					8									
	20	【ＤＸの推進】 ・ＩＣＴやＡＩを活用したデジタル化等のＤＸの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・「 DX/RPA推進によるビジネスの進化」をマテリアリティの1つに掲げています。 ・主力事業であるCRO事業において、紙資料のデジタル化や業務ロボットの導入を促進しています。								8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業，かごしま子育て応援企業，かごしま「働き方改革」推進企業		●	・鹿児島県女性活躍推進宣言企業の認定を受けています。 ・かごしま子育て応援企業の認定を受けています。			3	4	5			8		10							
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		・事業で排出した廃棄物や有害化学物質、排水について、廃棄物処理業者に委託するなど適切に処理しています。			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど，自社のエネルギー使用量を把握し，その削減に取り組んでいる。	●		・事業で消費した全てのエネルギー消費量を把握し、省エネ設備への更新など計画的な削減に取組んでいます。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し，排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業で排出した温室効果ガスを把握し、2030年カーボンニュートラルの実現に向けて計画的な削減に取組んでいます。 ・当社は2020年10月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同を表明し、気候変動に関連する当社のリスクおよび機会を継続的にモニタリングし、TCFD提言に沿った情報開示の拡充に取組んでいます。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入，かごしま認定リサイクル製品等）。	●		・「環境に関するポリシー」を制定し、環境に配慮したグリーン調達を推進しています。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		・当社が2004年に取得したメディポリス指宿は、その敷地面積の内、森林面積がその約9割（300ha）を占めており、地元の指宿森林組合とパートナーシップを組んで間伐・植樹など持続可能な森林管理を実施しています。 ・天然資源と日本の食文化の保全に向けて、シラスウナギの完全養殖の実現に取り組んでいます。						6.6								14	15		
	27	【３Ｒの推進】 ・ごみを減らし，資源を有効的に繰り返し使うため，発生抑制（リデュース），再使用（リユース），再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・DXに向けた紙資料のデジタル化により、年間120万枚の紙資源を削減する体制を整えています。 ・【予定】浄化処理した排水を施設清掃やトイレ用水として再利用することを計画しています。 ・【予定】試験室から出た動物の糞尿を浄化処理し、その堆肥を肥料として再利用することを計画しています。						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し，利用効率の改善に努めている。		●	・水消費量の定期的なモニタリングを通して、社内における水資源の利用効率の改善、使用量の削減意識を醸成しています。 ・微生物処理と膜処理の２つの浄化処理を実施しており、当施設からの排水は中水レベルまで浄化されています。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001，エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●	・統合報告書や自社ウェブサイト上に環境データを開示しています。 ・サステナビリティレポートを作成・開示し、環境への取組みを開示しています。												12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・指宿市で純民間企業として初めてバイナリー式地熱発電所を運営し、年間約1,000万kWhの再生可能エネルギー由来の電力を発電しています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等，持続的な森林利用への取組を推進している。		●	・指宿市に約300haの社有隣を保有しており、地域の森林組合の協力のもと、計画的な間伐や植樹を通して山の空気の入替を実施することで、生物多様性の宝庫である森林資源を適切に管理しています。						6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（株式会社新日本科学）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や，海洋汚染の防止に貢献している。		●	・プラスチックの使用量削減に取組んでいます。												12.2 12.5		14			
環境	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や，電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●	・一部の社用車に水素自動車を導入しています。									9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・毎年品質目標を設定し、全社員の品質管理への意識向上に取組んでいます。 ・顧客満足度調査を実施し、サービスや対応の更なる向上を目指して、問題点や課題の把握とその改善に取組んでいます。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・施設整備において，スロープや多機能トイレの設置などバリアフリーに対応した環境整備を行っています。									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・日本の再エネ比率の向上と気候変動問題の解決に向けて地熱発電所を運営し、年間約1,000万kWhを発電しています。 ・天然資源と日本の食文化の保全に向けて、シラスウナギの完全養殖の実現に取組んでいます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動，防災活動や寄付，ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・「社会貢献活動に関するポリシー」を制定し、「保健医療へのアクセス」、「教育へのアクセス」、「地域・環境資源の保全と持続可能性向上」を優先活動分野として選定しています。 ・当社が保有するメディポリス指宿の敷地内で運営している一般社団法人メディポリス医学研究所「メディポリス国際陽子線治療センター」は、陽子線による固形がんの治療をしており、当社は同センターの建設を支援し、その後の運営サポートを行っています。 ・カンボジアに拠点を置くSNBL CAMBODIAでは、社の施設内にフリースクールをつくり専任教師を雇用して、現地の従業員の家族や近隣の村に住む子供たちに英語、コンピューター、数学の無料学習プログラムを提供しています。 ・サッカークラブチーム「鹿児島ユナイテッドFC」のオフィシャルトップパートナーとして応援しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●	・当社が指宿で運営しているホテルでは、地元鹿児島産の食材を使用し、季節感を演出した料理で宿泊客のおもてなしをしています。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
社会・地域貢献	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験，インターンシップの受入れ，出前講座の実施など，地域の児童や学生に対し，学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れています。 ・高校や大学での出張講座を実施しています。				4				8.6		10.2							17
社会・地域貢献	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	・鹿児島県内の学校を卒業した学生を積極的に採用しています。				4.4				8.5 8.6									17
社会・地域貢献	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●	・当社が指宿で運営しているホテルでは、床暖房や温水プールなどに温泉熱を活用するなど再生可能エネルギーの活用を推進しています。								8	9		11	12		14	15		17
社会・地域貢献	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●			2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
社会・地域貢献	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や，関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や，観光に来た「交流人口」ではない，地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●	・日本全国から優秀な人材を採用しています。（2022年4月に入社した新入社員の約6割は県外の出身者でした）								8			11	12			15		17